

五輪にらみ文化発信

都、リオ直後から強化

2020
TOKYO

東京都はリオデジャネイロ五輪・パラリンピック後に大規模な文化事業を始める。外郭団体を通じて、5件の民間プロジェクトへの助成を28日決めた。訪日外国人（インバウンド）向けの夜間公演や、有名女優が登場する東京を舞台にしたミュージカル上演を後押しする。リオ大会後に次の開催都市として内外から注目が集まる機会をとらえ、東京の魅力を発信する。

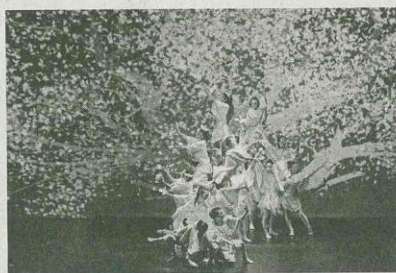
東京都歴史文化財団（墨田区）内の組織、アーツカウンシル東京が38件の申請から5件を選んだ。2千万円を上限に費用の4分の1を助成する。

第1弾としてリオパラリンピック終了翌日の9月19日から、明治座（東京・中央）がインバウンド向け公演を始める。日本舞踊や殺陣などの伝統芸能とアニメやダンスを組み合わせた演劇を上演する。都内では外国人が夜に楽しめる娯楽が少ないとの指摘があることを踏まえ、上演開始を午後8時半と遅めに設定し

東京は「文化・交流」で見劣りする



文化・交流分野のスコア その他スコア
(注) 森記念財団・都市戦略研究所の「世界の都市総合ランキング」(2015年)より



明治座はリオパラリンピック終了直後にインバウンド向けの夜間公演を始める

た。来年3月末まで88回の公演を予定する。来年1月には芸能プロダクション大手のホリプロが、漫画家の楳図かずお氏の作品「わたしは真悟」のミュージカルを新国立劇場（東京・渋谷）

で23回公演する。東京を舞台に産業ロボットが活躍する物語で、高畑充希さんや門脇麦さんなど有名女優が出演する。このほか10月に東京のロジエクト、11月には国

際映画祭が予定されている。明治神宮外苑では屋外でスポーツをテーマにした作品を展示する。来場者は約12万人を見込んでいる。森記念財団・都市戦略研究所の「世界の都市総

合ランキング」によると、東京の15年の順位は4位で、文化・交流分野でロンドンなど上位3都市に大きく差をつけられている。都は2020年の東京五輪・パラリンピックを機に文化発信を強化する考えだ。